

学校だより 1月号

平成30年1月9日
鴻巣市立小谷小学校

小谷っ子

TEL 048 (548) 1004
FAX 048 (547) 1467
URL <http://koya-e.konosu.ed.jp>
e-mail koya-e@city.konosu.ed.jp

【学校教育目標】 夢・希望にあふれる心豊かな児童の育成

「家庭学習の習慣化を目指して」 ～自主学習ノートを通して～

校長 渡辺 勝徳

新年明けましておめでとうございます。昨年中は、保護者や地域の皆様には大変お世話になり、ありがとうございました。今年は戌年。かわいい子どもたちが周りの人々と仲良くやっていけるよう、今年も応援していきたいと思います。今年もご支援・ご協力のほど、よろしくお願いします。

さて、本校では家庭学習をがんばってやってきている子に校長室で表彰を行っています。そして表彰した後にいつも話をするようにしています。

昨年12月に、自主学習ノートで300ページ以上やって表彰された4年生の子たちに「家で自主学習ノートを使って家庭学習をやる時に、『いやだなあ』とか、『面倒くさいなあ』とか思ったり、お母さんに『早く勉強しなさい!』とか言われたりしない?」と聞いたところ、ほとんどすべての子が「いいえ」と答えました。

私自身を振り返ってみると、机に向かうまでが一苦労だった気がします。小学生の時は家に帰ると、「ただいま!」と言うが早いか、ランドセルを家の中に放り投げるのが早いか、すぐに外に遊びに行ってしまったものでした。家が学校から一番遠い場所にあったので、途中で友だちが家にカバンを置いて、何人かの友達といっしょの帰宅でした(今と時代が違うので、不審者等もほとんどいなかったし、テレビゲームやスマホもなかったので、学校から帰って外で遊ぶのが当たり前でした。)。だから、みんなといっしょに遊んでから家に帰って、その後、そろばん塾に行ってきたからの家庭学習は本当に苦痛で、習慣化しなかったというのが本音です。だからこそ、本気で勉強しなくてはならない中学生になってから、家庭学習の習慣化を図るのはたいへんだった経験があります。だから、小学生のうちから、それも低学年のうちから家庭学習の習慣化が図ればよいと思いました。そこで、自主学習ノートを100ページ達成するごとに賞状を出し、頑張ったことを賞賛し、その子が賞賛されたことを励みに、さらに頑張りと、また賞賛され、またやるというふうな、スパイラルに乗っているうちに、いつの間にか家庭学習をやるということが習慣化するといいなと考えました。ですから今は、子どもたちが家に帰ったら家庭学習をなにげなくやれるようになることを優先に考えていますので、家庭学習の内容はあまりうるさく問わないでやっています。

「習慣」という言葉を広辞苑で引いてみますと、「①日常の決りきった行い。しきたり。ならわし。慣習。 ② ア 後天的に習得し、比較的固定して、少ない努力でできる反復できる行動様式。 イ 狭義には特に知識に関係したものは記憶と呼んで、運動に関係したものだけを習慣ということが多い。」とあります。自分の思いも含めて解釈しますと、「何も考えないで自然に反復できるようになった行動(様式)」とでも言いましょうか?いずれにしても家庭学習の習慣をつけることは、今後生きていくうえで、子どもたちにとって有益でこそあれ、害ではありません。

2学期の終業式で1000ページ終了を達成した4年生女子児童1名を全校表彰しました。この子は何となく、家庭学習に関してだけでなく、いろいろなことに自信を持ってきたように見えます。昨年は6年生2名を全校表彰しました。ほかにもがんばっている児童がたくさんいます。習慣化してしまえば、家庭学習は日常の当り前の出来事になりますので、習慣化するまで頑張ってもらいたいと思います。ただ、そのためには、ご家庭の協力が**強力**に必要です。お父さん、お母さん、今年もよろしくお願いします。